

ミネルヴァ書房版『失われた九州王朝』初版第3刷 正誤表 (20240420Ver.)

			誤	正	備考
1	iv	6行目	『「邪馬台国」はなかった』朝日新聞社/一九七一年、朝日文庫/一九九二年、参照)	『「邪馬台国」はなかった』朝日新聞社/一九七一年、ミネルヴァ書房復刊/二〇一〇年、参照)	
2	15P	-7行目	(二百蘭亭斎古印収監) ※ルビは、蘭亭斎古印せいこいん (悪適戸逐・奠鞆日逐)	(二百蘭亭斎古印収蔵) ※ルビは、蘭亭斎古印収蔵らんでいさいこいんこうぞう (悪適戸逐・奠鞆日逐)	20210420追記
3	16P		※ルビは、悪適戸逐あくてきしすい、奠鞆日逐おうけんじっすい	※ルビは、悪適戸逐あくてきしちく、奠鞆日逐いくけんじっちく	20210420追記
4	31P	6行目	復刻版 一七九～一九六ページ	復刻版 一四二～一五六ページ	
5	77P	-8行目	ほけいたい	ほうけいたい	
6	77P	-7行目	ばんじょうにゆう	かんじょうにゆう	
7	85P	-7行目	～六四八	五七八～六四八	
8	87P	-11行目	白刃前今に交	白刃前に交	
9	89P	-6行目	安定	安帝	
10	90P	10行目	三月辛未に朔	三月辛未の朔	
11	113P	-6行目	右のB表によって見ると、	B表によって見ると、	
12	114P	B表	<442>	<443>	
13	125P	-6行目	(建武中元元年)	(建武中元二年)	
14	127P	2行目	「邪馬臺国」	「邪馬臺国」	
15	137P	8行目	故為倭王二日造	故為倭王旨造	
16	181P	2行目	李進●	李進熙	
17	181P	9行目	明治十七年、	明治十六年、	
18	190P	図表			
19	201P	5行目	、同「史料批判の方法と展望」『古文書研究』第四号)。	、同「史料批判の方法と展望」『古文書研究』第四号 ※『古代は沈黙せず』<ミネルヴァ書房復刊版>所収)。	
20	205P	9行目	(『史学雑誌』82-8、昭和四十八年八月)。	(『史学雑誌』82-9、昭和四十八年八月) ※『古代は沈黙せず』<ミネルヴァ書房復刊版>所収)。	
21	222P	8行目	(三九五～四一八)	(三九六～四一八)	
22	248P	2行目	(『「邪馬台国」はなかった』八十四ページ参照)。	(『「邪馬台国」はなかった』ミネルヴァ書房版、六十五ページ参照)。	
23	243P	-8行目	「キキ風」	「キキ国」	
24	251P	-3行目	妙宝輪を	妙法輪を	
25	258P	8行目	幾百人	数百人	
26	272P	8行目	(この点、『「邪馬台国」はなかった』八四～八九ページ参照)。	(この点、『「邪馬台国」はなかった』ミネルヴァ書房版、六五～六七ページ参照)。	
27	287P	-7行目	<『史記』夏本紀、正義>	<『史記』夏本紀・正義>	
28	334P	-3行目	右にこれを表記する。	左にこれを表記する。	
29	334P	-2行目	右のように、	左のように、	
30	356P	10行目	妙法輪を	転法輪を	
31	358P	6行目	減享元年	咸享元年	
32	359P	-8行目	貝原益軒『和爾雅』の「日本偽年号」等。	貝原益軒『統和漢名数』の「日本偽年号」等。	
33	P397	2行目	つぎの年表の	前頁の年表の	
34	433P	-4行目	二百早	二百早	
35	496P	11	使者か	使者が	
36	504P	-1～次頁	(『「邪馬台国」徹底論争—邪馬臺国問題を基点として』新泉社刊、古代史徹底論争—「邪馬台国」シンポジウム以後巖々堂刊、参照)。	(『「邪馬台国」徹底論争—邪馬臺国問題を基点として』新泉社刊、『古代史徹底論争—「邪馬台国」シンポジウム以後』巖々堂刊、参照)。	
37	508P	-3行目	すでに『古代は輝いていた』(第三巻、朝日文庫)	すでに『古代は輝いていた』(第三巻、ミネルヴァ書房復刊)	
38	514P	図表下	朱鳥九年 辛戌	朱鳥九年 丙戌	
39	543P	8行目	「三角縁神獣鏡の史料批判—三角人獣鏡論」	「三角縁神獣鏡の史料批判—三角縁人獣鏡論」	
40	553	4行目	「追求」	「追葬」	